

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

2015年度 第1回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録（確定稿）

- 開催日時：2015年6月9日（火）18時30分～20時30分
- 開催場所：田無総合福祉センター 第3会議室（4階）
- 出席委員：阿部恵子、五十嵐強、荘雄一朗、竹谷陽子、辻信明、野崎信行、安富真理子、渡辺真也、渡辺裕一<以上9名、敬称略、五十音順>
- 出席職員：坂口ボランティア・市民活動推進事業担当理事、池田事務局長、丸木福祉活動推進課長、中澤ボランティア・市民活動センター係主任、嶋田主事、長山コーディネーター

【配布資料】

- 資料 1：運営委員名簿
- 資料 2：2014～2015年度西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告（3～5月）
- 資料 3：2014～2015年度コーディネート状況等月次報告
- 資料 4：2015年度西東京ボランティア・市民活動センター予定表（5～7月）
- 資料 5：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会傍聴要領
- 資料 6：2014年度第6回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録
- 資料別紙：2014年度事業報告
- 資料別紙：2015年度事業計画
- 資料別紙：2015年度西東京ボランティア・市民活動センター事業・事務執行計画
および役割分担表
- 資料別冊：2014年度第5回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>
- 配布資料1：2014年度災害ボランティア養成講習会について
- 配布資料2：西東京レスキューバードについて
- 配布資料3：第13回ボランティアのつどいチラシ
- 配布資料4：ぼらんていあ倶楽部第84号

11 開会に先立ち、ボランティア・市民活動推進事業担当理事と事務局長よりご挨拶を行う。

1. 委 嘱 状 交 付

(1). 委嘱状交付

16 ボランティア・市民活動推進事業担当理事より各委員に委嘱状交付を行う。

(2). 委員自己紹介

18 9名の各委員より自己紹介を行う。

2. 委員長・副委員長選出

21 委員長に五十嵐強氏、副委員長に渡辺裕一氏を互選にて選出。

22 委員長、副委員長就任の挨拶。

23 事務局職員の自己紹介。

24 ○4月1日に組織改正があり、課の名称が福祉活動推進課となった。

3. 報 告 事 項

(1). 2014年度3月・2015年度4月～5月西東京ボランティア・市民活動センター業務報告について

○事務局より資料2～4に基づき、2015年3月から2015年5月末までの業務について報告を行う。

○以下、質疑、協議が行われる。

委員長：質問をお願いしたい。

委員：今年のボランティアのつどいに参加したが来場者が少なかった。ボランティアは増えているのか。

事務局：今回は、ボランティア活動に興味関心のある方をターゲットとしたので、来場者数自体は少なかったが、ボランティア・市民活動センターの窓口にボランティアの相談に訪れる人は例年より多く、当日会場で2名の方が登録をし、そのほかにも数名の方が活動への興味関心を示して夏の体験ボランティアなどにつながった。

委員：年に1回、ボランティア登録者の継続の確認をしていると思うが、実際に登録をやめる人はどの程度いるのか。

事務局：現在確認の作業をしているところであるが、現時点で10名程度の方から、登録を継続できない旨の連絡をいただいている。6月には登録数として減少するかもしれない。

委員：正直に言って、登録ボランティアの増加数が少ないと感じている。ボランティアをやりたいという人は結構いる。

委員長：このことはある意味運営委員会のテーマでもある。現在の登録ボランティア数は、近隣市と比較して少ない方だと聞いている。また、登録ボランティアは個人として登録している人の数であり、団体に属して活動している人の数は含まれていない。

登録ボランティアとは何なのかということと、ボランティア活動は何なのかという点については議論を深めていきたい。また委員の皆様からのご意見を積み上げて、実りのあるものにしていきたい。

運営委員会としては、市民の代弁者として、どのようにしてこのような課題に関わっていけるのかといったことについて考えていきたい。

(2). 平成26年度西東京ボランティア・市民活動センター事業報告について

○事務局より別紙資料に基づき、2014年度の事業報告を行う。

○以下、質疑、協議が行われる。

委員長：質問をお願いしたい。

委員：児童、生徒の福祉教育への協力のところで、4年生が多いのは国語の教科書に点字のことが出てくるからである。点字に関する知識に触れたのち、そのことをきっかけとして、総合的な学習の時間で、手話や車椅子の体験をしている。一度体験した教員からの口づてで広がりを見せているようである。

委員長：ボランティアに関するカリキュラムは何かあるのか。

委員：小学校ではボランティアに関するカリキュラムはないと思う。小学生にとってみれば、ボランティアということは抽象的なものである。子どもにとっては、具体的な呼びかけの方が取り組みやすいのだと思う。また、ボランティアというよりも、育成会としての取り組みに参加をしているといった感じであるが、育成会を通して、高齢者との交流等を行ったり、またクラブ

1 活動として参加をするなどしている。

2 事務局：ボランティアを増やしていく、ボランティアの心を伝えていくといったことが大切なことだ
3 と思っている。どのようにしたら、先生方と良い協力関係を保ちながら一緒に子どもたちにボ
4 ランティアの心を伝えていくことができるのか考えていきたい。

5 また、現在登録をしているボランティアの多くが、60代以降の方に偏っているため、大学と
6 の連携などを視野に入れつつ、どのようにしたらボランティアの底上げを図ることができるの
7 か、委員の皆様方と一緒に考えていきたい。1つ1つの事業をうまくつなげながら、相乗効果
8 を図っていけると良いと思っている。

9 委員：ボランティアをやるということではなく、知らず知らずにボランティア活動に参加できる
10 ようにすると良いのではないか。自治会の活動や災害の活動など、自然に参加出来るものもあ
11 る。大きくなった子供が小さい子供の面倒を見るようなことが、行事の中で当たり前のように
12 なっていると良い。

13 4. 審 議 事 項

14 (1). 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の傍聴について

15 (2). 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の会議録の作成と公開について

16 ○審議事項の(1)と(2)について、同時に審議する。事務局より資料5に基づき、西東京ボランテ
17 ィア・市民活動センター運営委員会傍聴要領について説明をし、会議録の作成と公開についてを含
18 め、審議を行う。

19 事務局：ここ数年傍聴者はないが、開かれた運営委員会であるということを知らせていきたい。また、
20 会議録についても、前回の会議の内容を確認するという目的以外にも、市民に運営委員会では
21 どのようなことが話されているのかという点について、伝えていくものとしたい。

22 なお、出席した委員として、委員の氏名は会議録に掲載するが、どの発言をどの委員がしたか
23 については、掲載しない。

24 今ある傍聴要領に基づき、傍聴を認めていただきたい。

25 委員：傍聴者は、市外の方でもよいのか。

26 事務局：そのとおり。

27 ●傍聴および、会議録の作成と公開について認めることとなる。

28 (3). 2014年度第6回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録(未定稿)について

29 ●何か気づいた点があれば、今週末までに事務局に連絡をいただき、修正の上公開することとする。

30 5. 協 議 事 項

31 (1). 平成27年度事業について

32 ○事務局より別紙資料に基づき、2015年度の事業について説明を行う。合わせて、西東京レスキ
33 ューバードについて、西東京レスキューバードの代表でもある委員よりお話をいただく。

34 委員：4月に自主グループとして、会員数22人で始まったばかりである。活動の目的は、災害が
35 起きた時の西東京市内での被災者支援活動であり、災害ボランティアセンターが立ち上がった
36 際に、そこでの支援活動を行うものである。メンバーは市内に点在しており、22名で何
37 ができるのかということからではあるが、継続した活動を行うことで広がっていくものと思
38 っている。また、他団体の方と接しながら、団体同士の連携を図ることで、日頃の備えや、
39
40
41
42

1 地域でのつながりなども見えてくると思う。11月に養成講習会が終った後毎月定期的な集
2 まりを持ち、何ができるのか、何が求められているのか。どのような団体にすればよいのか
3 といった点について、話し合ってきて、一人もやめることなく活動を始めることができた。
4 災害が起きた時のことに加え、日頃からの備え、日頃からのつながりづくりの重要性も感じ
5 ている。以前に手話サークルの代表をしていたことがあるが、その頃の耳の聞こえない仲間
6 が、平常時でも例えば外出時に電車が止まってしまうと行先変更などのアナウンスがあつて
7 もわからず、何が起きたのかわからないままに取り残されてしまうことがあり、困るといっ
8 ていた。災害が起きた時には、このようなことが起きてくると思う。我々は、普段生活して
9 いる中では、自分に何が求められているのか、何ができるのかなど、なかなか気が付かない
10 のので、避難所などでも混乱が起きると思う。このようなことが少しでもなくなるために、ど
11 のようにしたら良いか日頃から考えていきたい。避難所を運営するゲームがあり、自分たち
12 も講座の中で体験したものだが、4月にゆめこらぼの職員と一緒に他団体で実施の手伝いを
13 した。学んだことや伝えられることを掲載し、年に1回機関紙を発行しようと考えている。
14 市の防災計画や避難所のことなどについて調べるようなことから始められないかと考えて
15 いる。

16 事務局：今年度の事業計画を考える中では、災害というものが大きな柱になるのではないかと
17 思っている。それぞれの委員の属する専門分野の視点から、いろいろなご意見をいただく中で、ボ
18 ランティア・市民活動センターがやらなければならないことを導き出せばいいと思ってい
19 る。また、できればそのことを28年度の事業に反映することができると、西東京ボランテ
20 ィア・市民活動センターの役割も見えてくると思っている。なお、今年度の災害ボランティア
21 養成講習会については、西東京レスキューバードの皆様にご協力をいただきながら進めてい
22 くと共に、講座修了者は西東京レスキューバードの活動に参加することを前提とする。

23 委員長：本日意見のあったボランティアとは何かという議論について、ここで触れたかったが時間が
24 無くなってしまったため、次回以降に議論をしたいと思う。最後に今日参加しての感想を一
25 言いただいて終わりにしたい。

26 委員：会議の時間が限られているので、可能であれば特に議題が多いときなどには事前に資料を送
27 付してほしい。そのことでより議論が深められる。

28 委員：次回より、互いの連携などを考えられるとよいと思う。

29 委員：災害のことに関しては、学校ごとで避難所運営協議会を持っているので、連携等が考えられ
30 たら良いと感じている。

31 委員：ボランティアは何なのかという点について、とても重要なことだと思っている。任期の中で
32 このことについて考えていきたい。

33 委員：自分が学んだ災害のことが、ご近所などに広まっていくと良いと思う。

34 委員：ボランティアとは何かというところに関して、事務局とのずれを感じている。この部分につ
35 いては、きちんと話をしておく必要があると感じている。また、2016年度を見据えた話
36 し合いをしていきたいと思っている。今年度の事業計画の中でも、すぐにできることはある
37 と感じている。特に、学校との取り組みについては、多くの声を掛けていただいているので、
38 やり方を変えていく必要があると思っている。また、社会的弱者という言い方についても、
39 他ではあまりしていないと思うので違う見方で進めていく必要があると感じている。9月に
40 防災訓練があるので、お知り合いの聴覚障害者の方がまだ参加していないようであれば、参
41 加していただいたら良いのではないかと思います。(他自治体の社会福祉協議会での事例がある)
42 この年度の事業計画の中に入っていることなので、このことについて運営委員会でバックア

1 ップできたら良いと思う。

2 委員長：まずは新しい委員と意見を出し合って交流していきたいと思っている。報告事項が多いが、
3 議論の時間が短くならないように考慮してほしい。また、議題の打ち合わせなども事前に事
4 務局としたいと思う。

5

6. そ の 他

7

8 (1). 次回運営委員会開催日程について

9 ● 以下の内容を確認した。

10 ■ 開催日時：7月14日（火）18時30分より

11 ■ 開催場所：田無総合福祉センター第3会議室（4階）

12 ● 以上をもって、2015年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議、協
13 議を終了し、閉会した。